

#### (4) 高校生【環境といのちの学習】

##### ○ 森林整備・森林利用に関する体験（創る、知る）

##### ア ねらい

- ・ 私たちの「いのち」を支える水・土・空気などの循環に関わる森林の機能を学び、森林整備・森林利用に関する体験を通し、自分たちの生活と森林との関係を考える。

また、小学生との共同作業において、サポート・指導を行う経験により、高校生としての職業観や人生観を養う。

##### イ 内容

- ・ 森林・自然環境学習会や森林整備安全講習会を受講する。
- ・ 下刈り、間伐、除伐などの森林整備を体験する。
- ・ きのこの植菌やほだ木の伏込作業など里山林の有効活用を体験する。
- ・ ネイチャーゲームなどにより小学生と交流する。

##### ウ 効果

- ・ 異なる世代との交流を通して、職業観や人生観を養うことができる。
- ・ 講師の森林ボランティア団体などとのつながりで、活動の輪が広がる。
- ・ 小学生に対しては、高校生と触れ合う経験により、近い将来を想像できる教育効果がある。



(5) 成人（大学生）【感じる山形～教科書の向こう側へ】

○ 企業と連携した森づくり （創る、知る）

ア ねらい

- ・ 森づくりによって、地域の環境保全に貢献する。
- ・ 森づくりを通して地域との絆を育み、共に地域の発展に貢献する。
- ・ コミュニケーション力、行動力、チームワークなど組織で活動する際に必要な能力を向上させる。

イ 内容

- ・ 大学生の授業として実施する。
- ・ 社会人と協力して下刈り・間伐を行う。
- ・ 林地残材収集・歩道敷設などの作業を行う。

ウ 効果

- ・ 森について学ぶことで、自然や環境に対する知識を深め、森林への愛着を育むことができる。
- ・ 森づくり活動により、CO<sub>2</sub>森林吸収量を高め、健全な森林を未来へ継承することができる。
- ・ 組織で活動する喜びを体験し、その際に必要となるコミュニケーション能力を育成することができる。



(6) 成人（山形市）【間伐材を活用した森林環境学習】

○ 間伐材を利用したゴミ集積施設の協働設置（創る、知る）

ア ねらい

- ・ 間伐材の利用の推進及び森林整備の重要性を理解してもらう。

イ 内容

- ・ 間伐や間伐材の利用についての学習会を開催し、森林整備や地域材を利用することの重要性を学び、併せて町内会に間伐材を利用したゴミ集積施設組立てキットを提供し、地域住民が協働で設置する。

ウ 効果

- ・ 地域で使用する施設を協働で設置することで、愛着が持てるようになる。
- ・ 木材の良さを実感し、森林に関心をもってもらうことができる。





#### 4 「やまがた木育」を取り組む場面（場（コミュニティ）と世代）について

「やまがた木育」は、生活のあらゆる場面で身近に取り組むことができます。

ここでは、「やまがた木育」が想定される場面の場（コミュニティ）と世代について、次表で代表的な事例を紹介します。

表 場面で行う「やまがた木育」の事例

| 世代<br>場 | 乳幼児   | 小学生   | 中学生 | 高校生  | 成人<br>(大学生を含む)   |
|---------|---|---|-----|--|--|
| 家庭      | <b>家庭での取組み</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県産の木製遊具や木の道具に触れ親しむことや、森に出かけるなどの体験学習</li> <li>・ 家族で県民の森へハイキングに出かけ、森の案内人から地域の森林の特徴や役割を学ぶ</li> <li>・ 県産木材の住宅に住む</li> <li>・ 箸など日常使うものについて、地域の木製品など選ぶ・使う など</li> </ul> |   |     |  |  |
|         | <b>幼稚園・保育園での取組み</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 絵本を通して、森や樹木に関心を持つ(木育絵本)</li> <li>・ 木のおもちゃで遊ぶ</li> <li>・ 様々な樹種を見たり触ったりする</li> <li>・ 公園など身近な場所の樹木で遊ぶ</li> <li>・ 木の感触を楽しむ木工品を作る(木育クラフト) など</li> </ul>           | <b>学校での取組み</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小・中・高等学校それぞれの教科の特質を生かした授業や学校でのこれまでの取組みを継続しながら、各学校の特徴を活かした取組みを進める。</li> </ul> <b>小学校での取組み</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ 低学年 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本を通して、山形の森林や木を知る(木育ブック)</li> <li>・ 身近にある道具を使い木工品を作る(木育クラフト) など</li> </ul> </li> <li>□ 高学年 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会科の授業で「やまがたの森林」を読む</li> <li>・ 「森のたんけん手帳」を見ながら森林を観察する</li> <li>・ 組立を中心とした巣箱など簡単な木工品を作る など</li> </ul> </li> </ul>   |     | <b>大学での取組み</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教養科目・専門科目など、学校の特色を活用した活動 など</li> </ul> |  |
| 学校      | これらの場と世代とのつながりを重視(連携)   |   |     |  |  |
| 職場      |   |   |     |  | <b>事業者の取組み</b><br>会社の社会貢献活動や社員研修 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 森づくりを行う</li> <li>・ 間伐した木材でベンチを作り、公共施設に提供</li> <li>・ 社屋への県産木材の活用や事務用品を木製化 など</li> </ul> |
| 地域      | <b>地域での取組み</b><br>公民館や町内会、子ども育成会などにおける取組み <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ごみステーションや公民館など、地域で使うものや施設を木製にする</li> <li>・ 地域に伝わる木の文化などを子ども達に伝承する など</li> </ul>  |   |     |  |  |

※ 上記のほかに「しあわせウッド運動」(P 6)において、県内4つの県民の森、林業関係イベントにおいて木材利用の普及啓発を行っています。

## 5 「やまがた木育」における場と主体と施策のつながり

「やまがた木育」は、様々な形で県民生活に関わっているため、その取組みは、相互に連携させていくことが大切です。そのため、「やまがた木育」が、様々な場（コミュニティ）、様々な主体、様々な施策と連携して進められるように、以下のように施策を推進します。

### (1) 場（コミュニティ）のつながり

「やまがた木育」は、家庭、学校、職場、地域などの様々な場（コミュニティ）で行われることが必要であることから、それぞれの場における木育の内容が、他の場での活動につながっていくように努めます。

### (2) 主体のつながり

「やまがた木育」は、県民、学校、NPOなどの民間団体、事業者、行政などの様々な主体が関わることから、各主体がその特徴を活かし、他の主体と連携、協働しながら活動を展開できるように努めます。

### (3) 施策のつながり

「やまがた木育」は、地域づくりや民間活動、事業者の社会貢献活動など様々な社会活動に関わることから、効果的、総合的に実施できるように、他の施策と適切につながるよう努めます。

## 6 やまがた緑環境税を活用した「やまがた木育」の推進

県では、県民が「やまがた木育」を身近に取り組むことができるよう、やまがた緑環境税を活用しながら、民間団体や市町村の「やまがた木育」の取組みを支援していきます。さらに、県内には、既に森や木に親しむための活動を行う団体などが多くあることから、「やまがた木育」の考え方を周知し、活動に取り入れてもらうことで、「やまがた木育」の実践者の裾野を広げていく必要があります。

### ○ 主な推進方法

- ・ 「やまがた木育」を普及啓発する推進方針のパンフレット作成
- ・ 子どもの成長に合わせた木育教材の開発・実践
- ・ みどり豊かな森林環境づくり推進事業（県民提案型）を通じた「やまがた木育」に取り組む県民、市町村への支援
- ・ 県内4つの県民の森の「森の案内人」などの森林環境教育の実践者が、「やまがた木育」の考え方を理解し、活動に取り入れられるよう「やまがた木育」に関する研修会を開催
- ・ 企業による森づくり活動で「やまがた木育」の取組みを支援 など

## 7 「やまがた木育」の情報発信

「やまがた木育」は、やまがた緑環境税などを活用しながら、身近に取り組むことができるように、積極的に情報発信していきます。

### ○ 主な情報発信の取組み

- ・ 県民への浸透を図るため、「やまがた木育」の講演会やワークショップを開催
- ・ 県のホームページや、フェイスブック、インスタグラムなどのSNSを活用し、体験施設などの「やまがた木育」に関する情報を発信
- ・ 子育てに関する情報が掲載されているウェブサイトと連携し「やまがた木育」に関する情報を提供
- ・ 森と人をつなぐ情報誌「もりしあ」による情報発信
- ・ 若い世代や子育て世代に対して、「やまがた木育」を普及するため、フリーペーパーなどにより情報発信
- ・ 青年の家、少年自然の家などの社会教育施設と「やまがた木育」に関する情報を共有し、協力しながら施設利用者に対して、「やまがた木育」の体験を提供
- ・ 「やまがた木育」の優良活動事例について、「環境やまがた大賞」や県環境保全協議会の「山形県環境保全推進賞」などで表彰し、広く県民に周知
- ・ 県森林研究研修センターや県立農林大学校と情報共有し、森林・林業関係者の研修会などを通して「やまがた木育」の考え方を周知
- ・ 市町村の広報誌などを活用し、「やまがた木育」を周知
- ・ 「やまがた木育」の活動事例について、市町村のホームページや実践団体のフェイスブックなどを活用し、情報発信
- ・ やまがた公益の森づくり支援センターのホームページやフェイスブックを活用し、「やまがた木育」に関する情報を発信 など